

019 668m

鷄岳

【にわとりだけ】

船生のピラミッド形の名峰「にわとりさん」

地元の人々から「にわとりさん」と親しまれてきた名山。その、ピラミッド形の山頂からは、日光連山が一望できる。

低山ながらも 険しい登りの山行

東北自動車道を矢板ICで降り、国道461号を鬼怒川方面に車を進める。バス路線もあるが、下車してからかなり長い距離を歩くことになるので、車での移動をすすめたい。

矢板を過ぎ、塩谷町の船生地区に入ると目的の鷄岳が前方に見えてくる。地元の人々からは「にわとりさん」の愛称で親しまれている。国道461号と県道77号の分岐点の船生信号の先、白石川沿いの道を右折する。西古屋の集落に入ると、鷄岳のピラミッド形の山容が目前にとび込んでくる。登山道までもうすぐだ。

西古屋ダム手前にある道

路を右折して林道西前高原線を、車で進む。カーブの多い上り道を10数分上っていると、鷄岳の登山口の標識が目に入る。駐車場らしき所はないので、広い空き地に車を置き、登山の身支度を。

ガレ場の急斜面を 登る

登山口の上りは、リズムのある階段で始まる。一つ一つ、呼吸を整えながら登っていく。このあと、緩やかな上りが続く。登山道は整備され、ゴミ一つ落ちていないので、気持ちがいい。

新緑の時は若葉の香りが心を癒してくれ、紅葉の時は秋の彩りが目を和ませてくれる。この登山道を歩いていると、時折、木々の間か

ら心地よい風が吹き、汗をかいた身体を癒してくれる。約30分登ると、尾根に出る。その尾根を少し進むと、急なガレ場に差しかかる。見上げるような急な斜面だ。少し休憩を取り水分や行動食を補給する。呼吸を整え、いざ心臓やぶりの上りを行く。赤いペンキでつけたマークを頼りに一歩一歩慎重に登る。頂上直下は、かなりの急斜面である。途中からロープが張ってあるのでそれを頼りに登るのもいい。急な上りは、20分くらいで登り終えることができる。頂上はすぐそこだ。

が現れる



三角点のある 展望のよい山頂

一度、手前のピークに出るが、その先が668mの鷄岳の山頂だ。三等三角点の山頂からは展望がよく、特に日光連山は屏風のように連なって見える。田植えの時期になると水田がキラキラと輝きその美しさを手にとるように眺めることができる。この

山頂からは西南側のみ展望がよいが、空気の澄んだ冬であれば、木々の間から、県北の山々も確認することができる。山頂は広いので、ゆっくり休憩することができる。

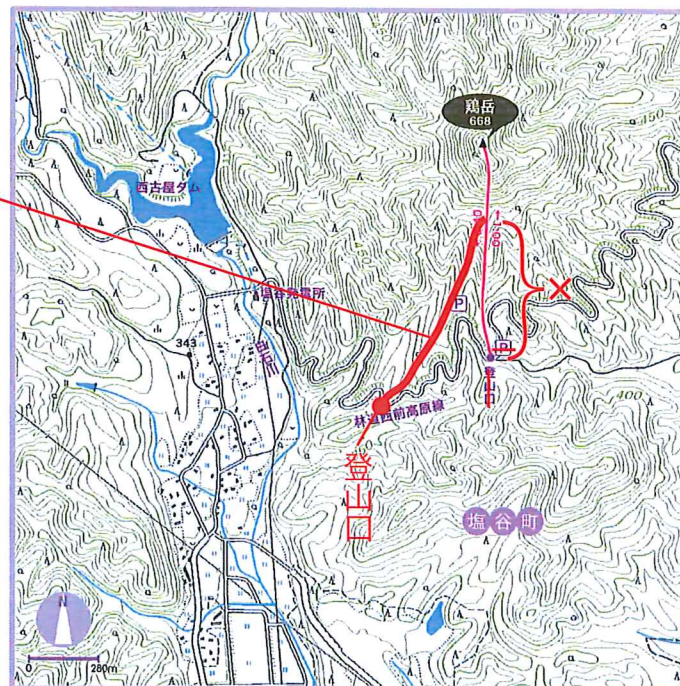
下山は、往路を下るが、急坂の下りには、十分な注意を払いたい。(斎藤直久)



- ★一年を通して登山が楽しめる。春は新緑、秋は紅葉。冬は空気が澄んでいるため、遠くの山々を容易に確認できる。
- ★水場はないので持参すること。なお急な上りが続くので、足に自信のある方にすすめたい。
- ★近くに公共交通機関はないので、マイカー以外の場合はタクシー利用となる。

初心者向 日帰り 1時間40分 標高668m

登山適期 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



正しいルート

問合せ
塩谷町産業振興課
TEL.0287-45-2211

地形図 玉生

駐車場
登山口付近に数台の駐車スペースあり

交通アプローチ
【最寄りIC】
日光宇都宮道路 今市IC
東北自動車道 矢板IC
【最寄り駅】
JR宇都宮線 矢板駅